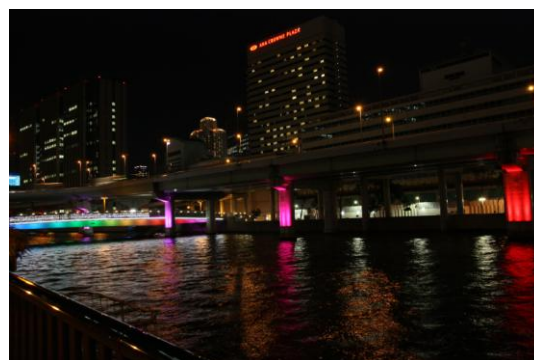
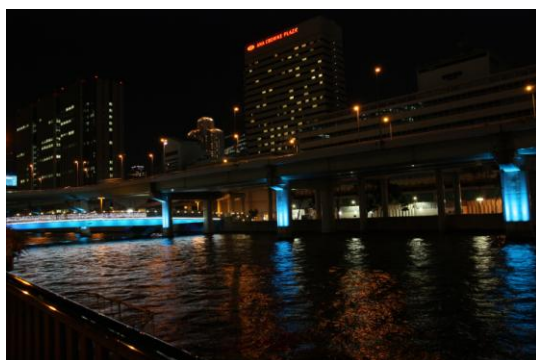
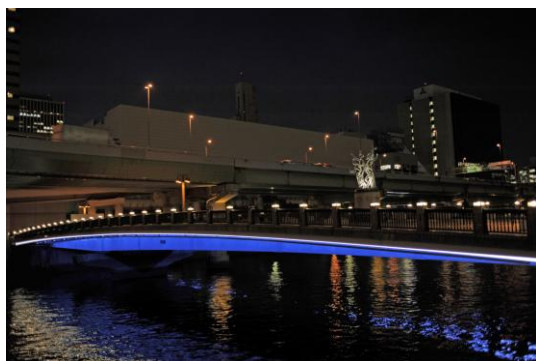


◆中之島ガーデンブリッジのライトアップ

OSAKA 光のルネサンス 2010（平成 22 年 12 月 11 日（土）～平成 22 年 12 月 25 日（土））の点灯式にあわせて、中之島ガーデンブリッジのライトアップを開始しました。

本橋の東側では、御堂筋に架かる大江橋のライトアップ、河川を照らす街河灯（堂島川左岸）、阪神高速橋脚のライトアップ（堂島川右岸）が行われており、今回、新たなまちの灯りとして中之島ガーデンブリッジのライトアップが加わることにより、近代建築物が集積するエリアで、堂島川を囲む光の 360 度景観が形成されました。

中之島ガーデンブリッジのライトアップは、都心の日常をスマートに演出するとともに、イベント時には大阪を楽しく・華やかせる演出を行います。また、阪神高速道路橋脚のライトアップと中之島ガーデンブリッジで実施するライトアップの演出を連動させ、ゾーンとして統一感のある演出を行いました。



▲日常時の演出

▲イベント時の演出

※ 中之島ガーデンブリッジを含めた建設局管理橋梁のライトアップは東日本大震災により被害にあわれた皆様に哀悼の意を表すため、これまで消灯していましたが、大阪から被災地に元気を届けるとともに震災復興の機運を盛り上げるため、平成 23 年 4 月 11 日より再開しました。

◆橋のパネル展

OSAKA 光のルネサンス 2010 の時期にあわせて、平成 22 年 12 月 1 日～12 月 28 日にかけて、淀屋橋 odona にあるアイ・スポットにおいて、「夜景の魅力あふれるまち・大阪～水の回廊を照らす“橋梁のライトアップ”」パネル展を実施しました。

また、平成 22 年 11 月 30 日～12 月 9 日にかけては、阪神高速ミナミ交流プラザ（Loop A）において、『橋のパネル展（阪神高速×大阪市建設局）』を阪神高速道路㈱と大阪市建設局で共同開催しました。

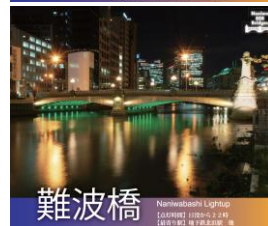
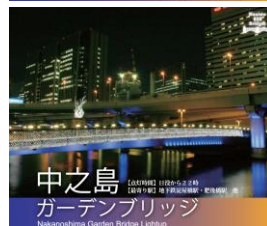
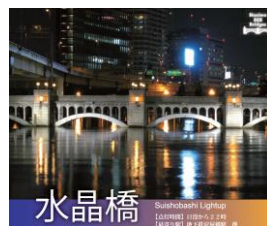
来場者を対象に実施したアンケートでは、8 割以上の方から、「非常に良かった」、「よかった」などの高い評価をいただいております。「非常におもしろい企画であり、これからももっとこのような企画をしてほしい」といった意見もいただきました。



▲パネル展の様子（阪神高速ミナミ交流プラザ）



▲『橋梁ライトアップ』パネル



◆春のまち歩き&クルージングツアー

平成 23 年 3 月 18 日に、中央区役所が主催で『春のまち歩き&クルージングツアー』を開催しました。

本ツアーでは、中央区の大阪証券取引所を皮切りに、船場の名建築をそれぞれのオーナーから解説をいただくなどしながらまち歩きし、本町橋船着場から若松の浜船着場までを船上コーラスを聞くなどしながらクルージングを楽しんでいただきました。

この中で、橋梁課はクルージングの際に、歴史的・技術的な橋の特徴などを紹介しました。

陸から川へ！ 川から陸へ！ 中央区の魅力満喫！

春のまち歩き&クルージングツアー

土佐堀川・東横堀川・下道頓堀川と水の回廊を形成する3つの川をもち、しとどな魅力たっぷりの近代建築や船場職人の心意気を感じさせる空間など、さまざまな魅力をもつ中央区。中央区では、今回、新築・船場界隈の魅力の発信に取り組み、新築アミニティソサエティ、船場地区HOPEソーン協議会、東横堀川水辺再生協議会（水よこ会）との共催で、さまざまな角度からその魅力を体験するプログラムを企画しました。ぜひご参加ください。（各コースとも少人数制）

3/18 日 14:30~18:30

まち歩きとライトアップクルーズクルマ
(夜間・船場・北浜界隈)

※主催 大阪証券取引所ビル1階アドリウム
(地下鉄船場 北浜駅下車)

定額 30名(多数参加)

※参加費無料

※コース 船場の名建築探訪(新築アミニティソサエティ、大阪企業家ミュージアム見学、大坂企業家ミュージアム見学、トピアイクルース(本館・船場第一館、船場2館)まで、東横堀川水辺再生施設(水よこ会)まで)

※オプションプログラム(新築アミニティソサエティ) 別途

★五橋・北浜水産
観音堂とお菓子(2,000円) 限定10名(多数参加)
観音堂探訪(当日10時30分~11時30分) 定額1,200円(税別)

★トピアイクルース探訪(4,000円) 定額2,000円(税別)

※特別モニター(4,000円) 定額2,000円(多数参加)
特別モニター(当日15時30分~18時)
※特別モニター(当日15時30分~18時) 定額2,000円(税別)

※お申し込みは、お申し込み先にお申し込みください。

★お申し込み先
新築アミニティソサエティ 06-6887-9892

3/21 木 9:50~14:00

ホリデーランチ&まち歩き&クルージング
(9:50~14:00)

※Aコースはまち歩きの前、道頓堀界隈を巡るランチを体験してください。
(定額5,000円)

※Bコースはまち歩きの前、道頓堀界隈を巡るランチを体験してください。
(定額5,000円)

※参加費無料

※コース 五橋・北浜水産、観音堂とお菓子(2,000円) 限定10名(多数参加)

※特別モニター(4,000円) 定額2,000円(多数参加)

※お申し込みは、お申し込み先にお申し込みください。

★お申し込み先
新築アミニティソサエティ 06-6887-9892

【申込先】
住居はかき(1名につき2名まで、お名前が記される場合は5名まで)、参加される方全員(1住所、氏名、年齢、電話番号；希望日「18日」か「21日」；18日のオプションプログラム希望の有無(有の場合は、オプションプログラム名と希望人数)、又は21日のコース名(各コースが8コース)を記入のうえ、お申し込みください。

【問い合わせ先】
06-6887-9892 大阪市中央区役所 中央区総務課 総合企画グループ
電話:06-6887-9892

中央区役所、新築アミニティソサエティ、船場地区HOPEソーン協議会、東横堀川水辺再生協議会



春のまち歩き コース案内

3/21 集合場所 五橋・北浜本館前

3/18 集合場所 大阪証券取引所ビル1階アドリウム

▲広報チラシ

▲クルージングの様子

◆中之島ガーデンブリッジ 花植え・水やり

◆内容

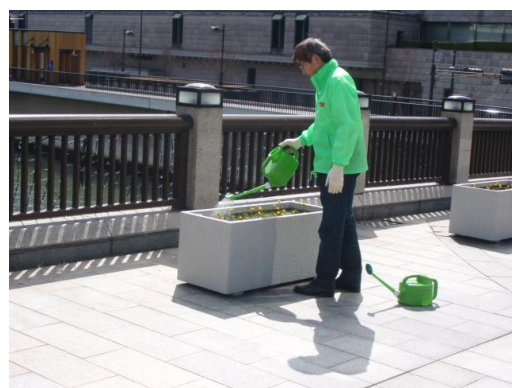
平成 23 年 3 月 23 日、堂島花植えの会により、中之島ガーデンブリッジ上の花壇等に花植えと水やりが行われました。

これは、『日頃、暮らしているこのまちを、多くの人を訪れ、きれいで住み心地のよい家のようにしていきたい』『その玄関である中之島ガーデンブリッジを花できれいに備え、みんなでできることから取り組んでいきたい』という想いで取り組まれています。

当日は、天候にも恵まれ、約 20 名が集まり、橋上と北詰の花壇に花植えと水やりが行われました。

今回は、「種から育てる地域の花づくり事業」（北区役所）で、扇町公園内にある花づくり広場において、丹精込めて種から苗を育てていただいている北区バラの会より、花苗の植え方を教わりながら、花苗を植えていき、その後、水やりが行われました。

中之島ガーデンブリッジは、ライトアップ、橋洗い、イベント等に加え地域による花植え・水やりが行われることにより、ますます地域に根ざした橋となってきています。



▲花植え・水やりの様子

◆橋梁技術の継承に向けた取組み

大阪市では、「なにわ八百八橋」と称されるように数多くの橋がかかっており、現在、大阪市建設局では764橋（平成23年4月現在）の橋を管理しています。

大阪市では早くから都市施設の基盤整備が進められてきており、今後は、これらの橋を適切に維持管理していく必要があるため、橋梁課では以下のような取組を実施しています。

◇大阪市橋梁保全更新計画検討会

管理する橋を良好な状態で将来に引き継ぐために、『大阪市橋梁保全更新計画検討会（委員長：渡邊英一 京都大学名誉教授）』を組織し、これからの橋の維持管理のあり方について検討しています。

平成21年度までに、計7回開催しており、平成22年度は、12月20日および3月15日に実施しました。

一方、関西自治体の橋梁長寿命化に関する有識者一同から『関西地域における効率的な道路橋維持管理の実現に向けた提言』（平成22年12月24日）が出され、平成23年2月2日に、大阪市橋梁保全更新計画検討会の委員長より大阪市建設局長に、その提言が渡されました。

提言内容

- ① 適切な技術的判断を行える専門技術者を育成すること
- ② 地域の特徴を生かすことに配慮し、互恵的地域連携をはかること
- ③ 産官学からなる地域技術コアを整備し、提案すること

◇橋梁設計研修（試行）

若手職員を対象に、試行的に橋梁設計研修を平成23年3月22日に実施しました。

本研修は、自治体間相互の連携を図り技術的知見を共有することが維持管理の効率化に資することになるため、隣接政令市である京都市、神戸市、堺市の協力を得て実施しました。



場所：大阪市公館

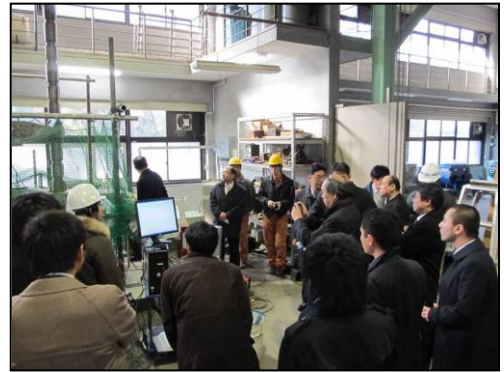


◆橋梁技術の継承に向けた取組み

◇大都市圏における橋梁の保全・更新技術に関する連絡会議

本連絡会議は、橋梁の長寿命化を図るために必要な維持管理手法の確立を図るとともに、諸技術基準の確立に資することを目的に、東京都、横浜市、大阪市、土木研究所において締結した協定に基づき開催しているものです。

平成 22 年度においては、各自治体が検討している取組み等についての情報共有を図ることを目的に、6 月 17 日および 1 月 25 日に実施しました。



◇なにわ八百八橋 先輩トークリレー

大阪市では、これまで橋梁の建設に携わった職員を講師として招き、次の世代を担う若手職員に向けて、橋梁の設計や維持管理に係る留意点等を継承していくための取り組みを行っています。

平成 22 年度においては、12 月 15 日および 3 月 24 日に実施し、長柄橋等の建設時の設計思想や経験談、地震に関する基礎知識や耐震設計等について、講義していただきました。

今後も、継続して技術の伝承にこころがけ、若手職員の技術向上、意識の高揚となるよう取り組んでいきます。



◇東日本大震災 現地調査報告会

大阪市建設局では、岩手県釜石市に設置した大阪市震災支援現地対策本部を通じて、釜石市から東北地方は燃料不足によって車両での移動に困難をきたしており、放置自転車で譲渡可能なものを早急に受け取りたいとの要望があり、自転車 80 台を提供することとなりました。

橋梁課からは、小松担当係長が出席し、自転車の提供とあわせて、岩手県釜石市等において現地調査を行ってまいりました。

橋梁課では、その現地調査報告会を平成 23 年 4 月 26 日に実施しました。

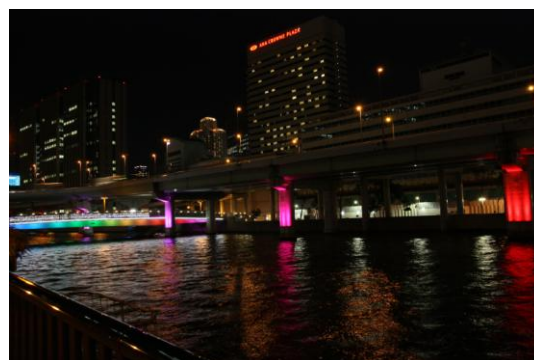
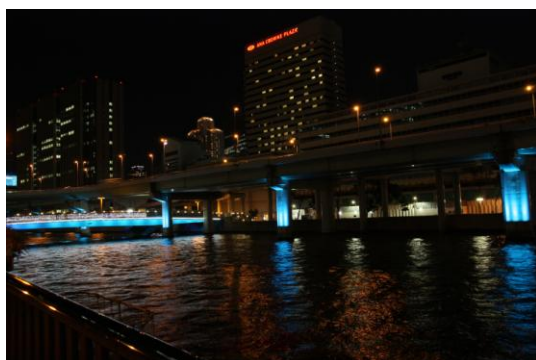
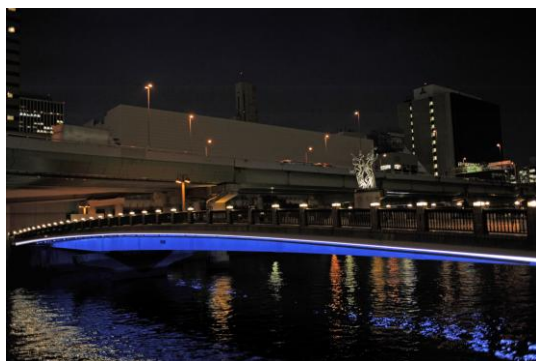


◆中之島ガーデンブリッジのライトアップ

OSAKA 光のルネサンス 2010（平成 22 年 12 月 11 日（土）～平成 22 年 12 月 25 日（土））の点灯式にあわせて、中之島ガーデンブリッジのライトアップを開始しました。

本橋の東側では、御堂筋に架かる大江橋のライトアップ、河川を照らす街河灯（堂島川左岸）、阪神高速橋脚のライトアップ（堂島川右岸）が行われており、今回、新たなまちの灯りとして中之島ガーデンブリッジのライトアップが加わることにより、近代建築物が集積するエリアで、堂島川を囲む光の 360 度景観が形成されました。

中之島ガーデンブリッジのライトアップは、都心の日常をスマートに演出するとともに、イベント時には大阪を楽しく・華やかせる演出を行います。また、阪神高速道路橋脚のライトアップと中之島ガーデンブリッジで実施するライトアップの演出を連動させ、ゾーンとして統一感のある演出を行いました。



▲日常時の演出

▲イベント時の演出

※ 中之島ガーデンブリッジを含めた建設局管理橋梁のライトアップは東日本大震災により被害にあわれた皆様に哀悼の意を表すため、これまで消灯していましたが、大阪から被災地に元気を届けるとともに震災復興の機運を盛り上げるため、平成 23 年 4 月 11 日より再開しました。

◆橋のパネル展

OSAKA 光のルネサンス 2010 の時期にあわせて、平成 22 年 12 月 1 日～12 月 28 日にかけて、淀屋橋 odona にあるアイ・スポットにおいて、「夜景の魅力あふれるまち・大阪～水の回廊を照らす“橋梁のライトアップ”」パネル展を実施しました。

また、平成 22 年 11 月 30 日～12 月 9 日にかけては、阪神高速ミナミ交流プラザ（Loop A）において、『橋のパネル展（阪神高速×大阪市建設局）』を阪神高速道路㈱と大阪市建設局で共同開催しました。

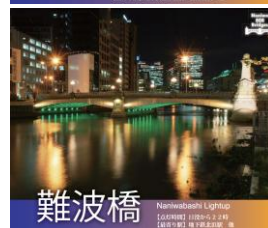
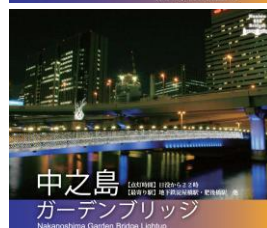
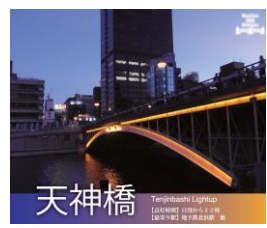
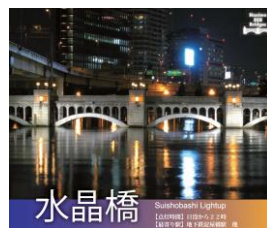
来場者を対象に実施したアンケートでは、8 割以上の方から、「非常に良かった」、「よかった」などの高い評価をいただいております。「非常におもしろい企画であり、これからももっとこのような企画をしてほしい」といった意見もいただきました。



▲パネル展の様子（阪神高速ミナミ交流プラザ）



▲『橋梁ライトアップ』パネル



◆中之島ガーデンプリッジ 花植え・水やり

◆内容

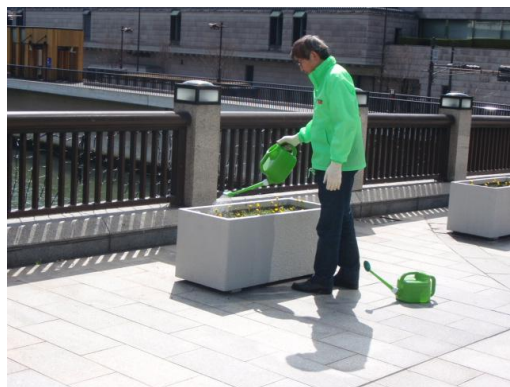
平成 23 年 3 月 23 日、堂島花植えの会により、中之島ガーデンプリッジ上の花壇等に花植えと水やりが行われました。

これは、『日頃、暮らしているこのまちを、多くの人が訪れ、きれいで住み心地のよい家のようにしていきたい』『その玄関である中之島ガーデンプリッジを花できれいに備え、みんなでできることから取り組んでいきたい』という想いで取り組まれています。

当日は、天候にも恵まれ、約 20 名が集まり、橋上と北詰の花壇に花植えと水やりが行われました。

今回は、「種から育てる地域の花づくり事業」（北区役所）で、扇町公園内にある花づくり広場において、丹精込めて種から苗を育てていただいている北区バラの会より、花苗の植え方を教わりながら、花苗を植えていき、その後、水やりが行われました。

中之島ガーデンプリッジは、ライトアップ、橋洗い、イベント等に加え地域による花植え・水やりが行われることにより、ますます地域に根ざした橋となってきています。



▲花植え・水やりの様子

◆橋梁技術の継承に向けた取組み

大阪市では、「なにわ八百八橋」と称されるように数多くの橋がかかっており、現在、大阪市建設局では764橋（平成23年4月現在）の橋を管理しています。

大阪市では早くから都市施設の基盤整備が進められてきており、今後は、これらの橋を適切に維持管理していく必要があるため、橋梁課では以下のような取組を実施しています。

◇大阪市橋梁保全更新計画検討会

管理する橋を良好な状態で将来に引き継ぐために、『大阪市橋梁保全更新計画検討会（委員長：渡邊英一 京都大学名誉教授）』を組織し、これからの橋の維持管理のあり方について検討しています。

平成21年度までに、計7回開催しており、平成22年度は、12月20日および3月15日に実施しました。

一方、関西自治体の橋梁長寿命化に関する有識者一同から『関西地域における効率的な道路橋維持管理の実現に向けた提言』（平成22年12月24日）が出され、平成23年2月2日に、大阪市橋梁保全更新計画検討会の委員長より大阪市建設局長に、その提言が渡されました。

提言内容

- ① 適切な技術的判断を行える専門技術者を育成すること
- ② 地域の特徴を生かすことに配慮し、互恵的地域連携をはかること
- ③ 産官学からなる地域技術コアを整備し、提案すること

◇橋梁設計研修（試行）

若手職員を対象に、試行的に橋梁設計研修を平成23年3月22日に実施しました。

本研修は、自治体間相互の連携を図り技術的知見を共有することが維持管理の効率化に資することになるため、隣接政令市である京都市、神戸市、堺市の協力を得て実施しました。



場所：大阪市公館

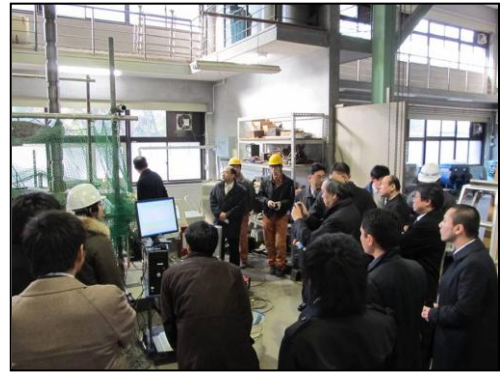


◆橋梁技術の継承に向けた取組み

◇大都市圏における橋梁の保全・更新技術に関する連絡会議

本連絡会議は、橋梁の長寿命化を図るために必要な維持管理手法の確立を図るとともに、諸技術基準の確立に資することを目的に、東京都、横浜市、大阪市、土木研究所において締結した協定に基づき開催しているものです。

平成 22 年度においては、各自治体が検討している取組み等についての情報共有を図ることを目的に、6 月 17 日および 1 月 25 日に実施しました。



◇なにわ八百八橋 先輩トークリレー

大阪市では、これまで橋梁の建設に携わった職員を講師として招き、次の世代を担う若手職員に向けて、橋梁の設計や維持管理に係る留意点等を継承していくための取り組みを行っています。

平成 22 年度においては、12 月 15 日および 3 月 24 日に実施し、長柄橋等の建設時の設計思想や経験談、地震に関する基礎知識や耐震設計等について、講義していただきました。

今後も、継続して技術の伝承にこころがけ、若手職員の技術向上、意識の高揚となるよう取り組んでいきます。



◇東日本大震災 現地調査報告会

大阪市建設局では、岩手県釜石市に設置した大阪市震災支援現地対策本部を通じて、釜石市から東北地方は燃料不足によって車両での移動に困難をきたしており、放置自転車で譲渡可能なものを早急に受け取りたいとの要望があり、自転車 80 台を提供することとなりました。

橋梁課からは、小松担当係長が出席し、自転車の提供とあわせて、岩手県釜石市等において現地調査を行ってまいりました。

橋梁課では、その現地調査報告会を平成 23 年 4 月 26 日に実施しました。

